

令和 5 年度 三好市立学校評価報告書

学校名(西井川小学校)

校長名(三橋 和博)

作成日 令和6年2月22日

1 総括評価

評価分野	自己評価(平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.6	・学校経営方針のもと、年度の重点目標について教職員に周知し、実践することができた。校務の実施については組織の機能を生かし、円滑に進めるよう努めた。	西井川小学校の教育活動は充実しているため、学校が評価されていることをもっと保護者に発信して欲しい。	学習への取り組む意欲について、児童と保護者の間に意識のズレがあるので、児童の主体的に学ぶ姿を発信する。そのような取組により、児童の頑張りや成長を教師と共に認め、よさを伸ばしていく教育を推進していく。 ボランティア活動する場所を、アドプトプログラムのように決めて活動させたり、地域から学ぶ活動をさらに充実させたりして、地域と共に児童を育てていく。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.6	・教育目標の具現化に向けた主題を設定するとともに、研究内容・方法を明確にした計画を作成し全教職員で取り組んだ。 ・ドリル学習や小テストなどを継続的に行い基礎学力の定着に努めた結果、各学年概ね目標数値を達成することができた。	教育活動が充実している背景には、教職員一人ひとりの頑張りがあると思うので、負担になっていないかどうかケアし、時間的だけでなく精神的な軽減を意識した働き方改革も行なって欲しい。	
③ 主要な教育活動に関する評価	3.6	・人権学習に関する研修に取り組み、指導力を高め教育実践に生かすことができた。 ・校長室だよりや学年だより、ホームページなどにより、情報を積極的に発信し、保護者や地域との連携を深めることができた。	どこの学校でもよくあることだが、家庭学習の取組について、児童と保護者の間に意識のズレがある。学校から児童の頑張りや発信することで解消できないか取り組んで欲しい。	
④ 保護者や地域との連携等に関する評価	3.6	・教職員の共通理解と協力体制を確立し、特別支援教育を一層推進することができた。	施設の管理がいきとどいているので、これからも続けて欲しい。	
⑤ その他、上記以外に関する評価(ICT、特別支援教育)	3.6	・徳島県教育会研究指定「ウェルビーイングを実現する人財の育成」についての研究を進め、全国で高い評価をいただいた。	新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、地域と連携した行事が以前に戻りつつあるが、事前の打合せ等をしっかりしてくれるので子どもにとって良い学びの機会になっていると感じる。	

(1) 4段階評価とする。

評価基準 4=達成度が 90~100 %
3=達成度が 70~ 90 %
2=達成度が 50~ 70 %
1=達成度が 50% 未満

(2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の(1)~(5)の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとす。

(3) 分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。

(4) 総括評価の「評価分野-その他」の項目の()には、分野別評価の「(5) その他に関する評価」の中から、特に重要視する事から記入する。

(5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会(学校運営協議会も可)において評価された結果をまとめたものを記入する。

(6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。